

(様式1-5)

鮫川村 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和4年1月14日時点

※本様式は1-3, 1-4に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	さめがわ村の魅力発信事業	事業番号	A - 1
事業実施主体		鮫川村	総交付対象事業費		26,667千円
既配分額		1,695千円	当該年度交付対象事業費		6,858千円
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業					
①情報発信事業					
				小計	6,858千円
i) 風評動向調査					
ii) 体験等企画実施					
iii) 情報発信コンテンツ作成					6,858千円
iv) ポータルサイト構築					
②外部人材活用					
				小計	千円
i) 企画立案のための外部人材の活用					
ii) 地域の語り部の育成					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修					
風評の払拭に関する目標					
【アウトプット】					
<ul style="list-style-type: none"><li>● さめがわ村の魅力発信通信の発行数：800部/1発行回（年4回発行+村SNS掲載） 東京農業大学及び校内生協への通信配布（上記発行に合わせ年4回依頼）</li><li>● メディア等による魅力発信 特別栽培認証制度による食品の安全性と美味しさに関する情報を動画にし、村公式SNSで県外の消費者への発信、物販時における動画の放映等を実施 PR動画の作成本数：1本/年</li></ul>					
【アウトカム】					
<ul style="list-style-type: none"><li>● 県外者の村ファンクラブ新規登録者数：年間50名以上の増を目指す R4.1：144名 ⇒ R8.3：350名</li><li>● 村の農産物の購入者数の増加：県外の定期購入者 年間10名以上の増を目指す R4.1：16名 ⇒ R8.3：50名 312%アップ</li><li>● アンケート調査等によるイベント参加・来訪時の本村の満足度の割合7割以上</li></ul>					
事業概要					
事業実施主体		鮫川村			
主な企画内容		農産物等の安全、自然豊かな景観の魅力等の発信			
主な事業の実施場所		鮫川村内一円			
事業の実施期間		R3.12~R8.3			

## 企画内容

### 【実施体制】

- ・事業主体：鮫川村
- ・連携団体及び役割分担
  - 鮫川村商工会（加盟事業所の情報収集・提供）
  - 鮫川村農産物加工・直売所「手まめ館」（生産者及び産物の情報収集・提供）
  - （有）鹿角平観光センター（事業取り組み内容の情報提供）
  - 鮫川村密着地域紙「さめがわ豆新聞」（村民の活躍情報の収集・提供）
  - （株）ル・プロジェ（さめがわファンクラブ運営、通信発行）
  - 特別栽培米PR動画制作委託業者
  - 東京農業大学及び生協（情報誌の配布、情報拡散の協力）
  - 東京鮫川会（情報発信の支援）
  - 連系企業【モンベル、ダイブ等】（村取組内容を企業所有の広報紙やSNSによる発信）

### 【現状・課題】

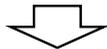
#### <現状>

- ・ 鮫川村は、除染、生産された農産物の検査等を通じて、安全に過ごせる村となっている
- ・ 東日本大震災から10年が経過したものの鮫川村における観光入込客数は震災以前の水準の回復に至っていない（平成22年度は42,748人、令和2年は27,990人 35%減少）  
特に20～30代といった若い世代での減少が大きい
- ・ 2010年6月から東京農業大学と山村環境の整備・整備再生・発展、地域再生・活性化の人材育成教育、伝統文化維持・発展等のための連携協定を締結するなどして村の活性化を図っている

#### <課題>

県外者に対し、村産農産物（特に米）の安全、村が有する自然（川や星空）の魅力等についての情報発信が継続的に行われておらず、有益な情報発信に至っていない

村の現状、魅力等が広く伝わっていないと思料  
県内産食品の忌避に伴う購入意欲の減退、観光客数回復の鈍化等につながっていると思料  
村の取組などを掲載、発信しただけで、県外者や消費者に届いているかの確認がない



村産農産物（特に米）の安全、村が有する里山の原風景や四季折々の風景などの魅力について継続的、効果的に発信できるコンテンツの作成と発信後の効果等の検証が必要

#### 【現状の課題に対するこれまでの取組】

- ・ 村農産物の出荷前モニタリング検査
- ・ 米の全袋モニタリング検査（2020年からは抽出検査）
- ・ 村特別栽培農産物認証制度による作物栽培で環境と安全に配慮した農業の推進
- ・ 村の魅力発信通信（紙媒体と村SNSへの掲載）による情報発信（村のSDGsへの取組内容）
- ・ さめがわファンクラブの創設、運営（LINEによる情報発信）による情報の発信と情報拡散者の確保

#### 【事業実施により得られる効果】

- ・ 環境、農産物等の安全に関する風評の払拭を図る
- ・ 農産物、自然（川や星空）等の魅力の発信により村のイメージの向上を図る
- ・ 生産現場からの農産物モニタリング情報の提供による県外者の風評払拭につながる
- ・ 観光情報を含めた情報発信による来訪の動機づくりができる
- ・ 安全、安心を裏付けする農産物の認証制度を広め、県産農産物の消費拡大を図ることができる

#### 【今年度事業における具体的な取組内容】

##### ◆さめがわ村の魅力発信事業

###### 【村産米PR動画】

今年度は県外の農学大学（東京農大、宇都宮大）生や県外消費者を対象に向けた動画作成を行い、認知度向上、消費拡大を図る。

動画内容は、農家の想いや美味しく食べる姿をインタビューにし、また、栽培工程（村特別栽培認証制度（化学肥料や農薬の使用量を制限））はタイムラプスで撮影を行い、農産物の安全、安心を、村SNS、下記PR誌及び東京都北区及び目黒区の広報紙に動画QRコードの掲載を依頼し情報発信を行い、風評払拭を図る。

###### 【村産農産物及び観光資源等をPR誌による情報発信】

県外の農学大学生（東京農業大学）等を対象に、村産農産物の安全、安心及び村が有する自然（川や星空）を年4回春夏秋冬の村の四季にあわせて発行する。特に若者が興味を引くような、景勝地（天狗橋、江竜田の滝など）や仏閣（富田薬師堂、熊野神社狛犬など）等の観光資源を中心に紹介、また、【村産米PR動画】と連動してPR誌にQRコードを貼り付け、鮫川村公式アカウントのLINEを通して、動画閲覧を可能とする。口コミにより村の魅力やサークルの仲間や、そこから派生する他大学との交流の中で発信してもらい、村への認知度向上及び誘客を図る。また、東京都北区及び目黒区役所の窓口と中央区にある福島県アンテナショップにも設置を依頼し、首都圏住民及び消費者に向けた発信を行う。

また、ラインに登録いただいた方には村ファンクラブに誘導し、今後の関係性を継続できるよう取り組む。

実施期間：R4. 4月～R5. 3月

実施体制：業者委託

概算費用：6,616千円

#### ②特別栽培農産物の特産品創出

- ・ アルファ米試供品のモニターを鹿角平キャンプ場（県外来場者約3割）の来場者から、キャンプ飯として造成し、村産米の消費拡大及び販売促進を図る。
- ・ 消費者志向で方向性、顧客の要求や欲求を満たす、マーケティングの基本的な考え方をモニタリングして、商品化に向けた取り組みを実施する。
- ・ 鹿角平キャンプ場は、R3利用者数1,950人、宿泊キャンプサイト利用者（日帰り利用者を除く）を対象として、1人2袋を試供品のモニターとして配布し、鮫川村公式アカウントのLINEを追加後に、検査等食の安全性の認識度や本村の来訪時満足度等のアンケートに回答いただき村施策の基礎データとする。
- ・ 情報発信としては、口コミによる、実際の体験談等として広く伝わり、同様の結果を求める消費者に対して情報の訴求力が高まる。ファンが仲間を紹介し、新たなファン層の拡大につながる。風評の払拭に当たり、様々な世代をターゲットへの発信・拡散を図る。また、R3において鹿角平観光牧場の魅力向上計画を作成した際に、キャンプメーカーのモンベルやグランピングを手掛けるダイブなどとパイプができたため、村の取組をPRしてもらう。

実施期間：R4. 4月～R5. 3月

実施体制：業者委託

概算費用：241千円

【今年度事業における目標】※複数年度にわたって事業を実施する場合

アウトプット

- ・風評払拭につながるアイテムとしてアルファ米の開発（試供品製造1,000パック）
- ・村産米PR動画制作 1本
- ・村産農産物及び観光資源等をPR誌 4回発行

アウトカム

- ・情報発信連携団体との風評対策に関する情報の収集
- ・県外ファンクラブ会員数→年間50人増員
- ・村の農産物の購入者数の増加：県外の定期購入者→10名以上増
- ・アンケート調査等によるイベント参加・来訪時の本村の満足度の割合 7割以上

【今年度事業の実施により得られる効果】※複数年度にわたって事業を実施する場合

- ・生産現場からの農産物モニタリング情報の提供による県外者の風評払拭につながる
- ・観光情報を含めた情報発信による来訪の動機づくりができる
- ・安全、安心を裏付けする農産物の認証制度を広め、県産農産物の消費拡大を図ることができる

【次年度以降の取り組み】※複数年度にわたって事業を実施する場合

- ・風評払拭のための継続的な通信発行業務及び公式SNS（Facebook・Twitter・LINE）での発信
- ・特別栽培米のアルファ米を活用し、キャンプやお手軽食としてのさまざまな用途での普及
- ・手に取りやすいアルファ米パッケージのデザインを委託
- ・特別栽培農産物のPR用動画を制作し、安全安心な村産農産物の販売を促す
- ・県外者がもつ福島県産農産物のイメージを払拭し来訪への動機となる環境をつくる
- ・若者層の誘客を促すべく、村の自然（川や星空）の魅力の継続的情報発信

【新型コロナ感染拡大防止対策】

事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、国・県が発出する通知・ガイドラインに則った形で事業を実施いたします。

<具体的な対策>

- ・事業実施のための打合せ等は、極力対面を避けリモートで行うこととする
- ・情報収集のための取材時には、人との距離を保ちながら行うこととする
- ・来訪を促す事業でもあるため、感染対策の徹底も文面に掲載することとする

鮫川村窓口担当者名：我妻 正紀 メールアドレス：nourin@vill.samegawa.lg.jp 電話番号：0247-49-3113